

令和 7 年度全国高等学校総合体育大会 「開け未来の扉 中国総体 2025」の閉幕について

1 要旨

- 7 月 23 日（水）から中国 5 県並びに北海道、福島県、和歌山県において「令和 7 年度全国高等学校総合体育大会（通称、インターハイ）」が開催された。
- 本県においては、広島市において 57 年ぶりとなる総合開会式を執り行ったほか、県内 4 市町（広島市、福山市、尾道市、安芸太田町）の競技種目別大会（7 競技 8 種目）において、全国各地の予選を勝ち抜いた選手たちが熱い戦いを繰り広げ、8 月 20 日（水）に閉幕した。

2 総合開会式について

- 秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を賜り、特に高校生が企画し出演した公開演技については、両殿下を始めとした多くの方々から「大変良い内容だった、感動した」といった感想をいただいた。
- 高校生による手話通訳やアナウンスの実施、高校生が企画・制作した会場装飾の設置や式典前映像の上映など、「高校生による高校のための大会」を象徴する式典となった。

（１）期日・会場 令和 7 年 7 月 24 日（木）

広島県立総合体育館（広島県広島市中区基町 4 番 1 号）

（２）参加者数 約 3,100 名

選手団：約 440 名、招待者（大会関係者）等：約 590 名、一般観覧者：約 920 名、
出演高校生・ゲスト：約 400 名、運営役員・補助員（教員・高校生）：約 530 名、
報道員：約 80 名、その他運営者等（県職員ほか）：約 140 名

（３）当日の様子

選手団入場



公開演技



歓迎のことば（高校生代表）



会場装飾



3 競技種目別大会について

- 仮設を含む空調整備など、特に熱中症については様々な対策を講じた。
天候不良などの影響を受け、一部の競技に日程等の変更が生じたが、中止などを伴わず全ての競技種目別が最終戦まで実施された。
- 広島県代表が4競技で全国優勝を成し遂げ、31の個人や団体が2位から8位までの上位成績を収めるなど、高校生アスリートの活躍が県民に希望や感動を与えてくれた。

(開催競技種目、会場、日程)

会場地市町	競技種目	競技会場	日 程
広島市	陸上競技	ホットスタッフフィールド広島 (広島広域公園陸上競技場)	7月25日～7月29日
	水泳(競泳)	ひろしんビッグウェーブ	8月17日～8月20日
	剣道	広島県立総合体育館	8月7日～8月10日
福山市	水泳(飛込)	福山通運ローズアリーナ	8月17日～8月20日
	ローイング	芦田川漕艇場	8月1日～8月5日
	少林寺拳法	エフピコアリーナふくやま	7月23日～7月25日
福山市・尾道市	テニス	竹ヶ端運動公園庭球場、 こざかなくんスポーツパークびんご	7月28日～8月4日
安芸太田町	登山	恐羅漢山、十方山、深入山	8月5日～8月9日

(1) 参加者数など

- 県内で開催した7競技8種目の競技種目別大会には、全国から選手及び監督・コーチ約11,000名が参加し、地元や県外から来場した延べ約125,000人の観客が声援を送った。
- 県内高等学校の生徒約1,900名が「大会補助員」、県内の高等学校教職員などを中心とした協力者約2,100名が「大会役員」として協力し、その支えによってスムーズな大会運営が実現できた。
- 県内開催競技種目別大会の参加者数などの内訳は別紙1のとおり。

(2) 広島県からの参加選手数や成績概要など

- 広島県からは、65校・695人が30競技32種目に選手として参加した。
- 広島県内開催競技種目別大会では、陸上競技及び登山において広島県代表が優勝を飾った。
- 4競技での全国優勝ほか上位8位までの広島県選手の成績概要は下表のとおり。
選手名、学校名などの詳細は別紙2のとおり。

(広島県選手の成績概要)

順 位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	合計
数	4	3	6	5	10	1	3	3	35
(うち、本県 開催競技種目)	(2)	(2)	(0)	(5)	(2)	(0)	(2)	(0)	(13)

<優勝者(優勝校)>

陸上競技	女子100m	松本 真奈(県立広島皆実高等学校)
登山	男子(団体種目)	広島学院高等学校
柔道	女子48kg級	富田 伊央莉(県立広島皆実高等学校)
自転車競技	女子3kmインディヴィデュアル・パーシュート	白井 愛美(広島市立広島工業高等学校)

4 高校生による大会の“おもてなし”と“機運醸成”について

- 競技と並ぶ「インターハイの両輪」である高校生活動が大会を盛り上げた。
- 広島県高校生活動推進委員は“おもてなし”と“機運醸成”により大会を支え、その「インターハイを通じたリアルな社会体験」そのものが高校生の主体的な学びとなり、創造力や協働力、学び続ける力を高めることにつながった（「学びの変革」の実践）。

（１）大会を支える「広島県高校生活動推進委員会」の活動

本大会を「高校生による高校生のための安全・安心で一生心に残る大会」とするため、県内の高校生代表 45 名が「広島県高校生活動推進委員（以下「推進委員」という。）」となり、権限と責任をもって、大会のおもてなしや機運醸成に関する活動を行った。

＞活動内容例：総合開会式の企画等、大会の広報活動

（２）推進委員による活動の振り返り

推進委員へこれまでの活動全体を通じたアンケートを行ったところ、高校生自身が責任と権限を持ってプロジェクトを遂行する中で、主体的な学びを一步ずつ育んできたことがわかった（推進委員全体の 9 割程度から肯定的な回答があった）。

【推進委員からのアンケート回答（「本活動で目指す生徒の姿」/ 高校生の振り返り）】

▶ 創造力

「新たな企画開発、枠にとらわれない柔軟な発想、既存のアイデアに付加価値を付ける等」

- ・ 来場者等の視点に立って多面的にアイデアを抽出することで、独創性のある作品制作や様々な目的のイベントを展開した。
- ・ 会場での装飾品の再使用や再生利用（折り鶴再生紙）、観客への草花プレゼントを行い、SDGs の取組につなげた。

▶ 協働力

「互いに意見を出し合い思考を深める、異なるスキルを組み合わせ大きな成果を上げる」

- ・ 他者との対話を大切にすることで、互いに納得のいく結論を導き出すことができた。
- ・ 多様な意見を尊重し合うことで、活動のブラッシュアップを図ることができた。

▶ 学び続ける力

「情報収集、トライ＆エラー、研修の実施による継続的に学習するマインド育成」

- ・ 競技の魅力を発信するための調査や選手団激励の司会でのアドリブ対応のための情報収集、手話通訳のための文法の学習など、それぞれの役割を果たすために自己研鑽に励んだ。
- ・ 学校の学びにつながる面があり、学習意欲が向上した。

▶ デジタル技術

「オンラインミーティング、動画編集、広報イラスト制作、SNS 情報発信等」

- ・ 様々なツールを活用し、資料作成や映像編集を行うことができるようになった。
- ・ SNS 投稿を通して、フォントの加工や音声の工夫などの技術向上が図れた。
- ・ SNS リテラシーについて考える機会となった。

5 その他

- 広島県実行委員会解散総会及び広島県高校生活動推進委員会解散セレモニーを次のとおり執り行った。
 - ・ 令和 7 年 9 月 4 日（木）
 - ・ リーガロイヤルホテル広島
- 総会では大会を総括し、高校生代表がこれまでの活動の振り返りを発表した。また、今後の報告書作成や決算などの事務処理等は会長へ一任（専決）とすることについて議決した。
- 解散セレモニーでは、高校生 1 人ずつに感謝状を授与したほか、各班別でこれまでの振り返りの発表などを行った。

輝け君の青春 刻め努力の軌跡



令和7年度全国高等学校総合体育大会「開け未来の扉 中国総体 2025」
競技種目別大会（広島県内開催） 参加者数等一覧

（単位：人）

会場地 市町	競技種目名	参加者数			運営者数			観客数 (延べ数)
		選手 (生徒)	監督・コーチ (教職員等)	計	補助員 (生徒)	役員 (教職員等)	計	
広島市	陸上競技	3,330	1,038	4,368	662	695	1,357	80,000
	剣道	763	205	968	154	162	316	20,000
	水泳（競泳）	1,638	858	2,496	173	277	450	5,000
福山市	水泳（飛込）	36	44	80	67	88	155	600
	ローイング	956	194	1,150	167	149	316	2,335
	少林寺拳法	621	322	943	123	153	276	3,600
福山市・ 尾道市	テニス	654	100	754	451	419	870	13,501
安芸 大田町	登山	364	91	455	65	182	247	263
合計		8,362	2,852	11,214	1,862	2,125	3,987	125,299

令和7年度全国高等学校総合体育大会「開け未来の扉 中国総体 2025」
広島県 成績概要（8位まで）

別紙2

○ 広島県参加選手：65校、695人（30競技32種目） ※不参加競技種目：水泳（水球）、サッカー（女子）、ホッケー（女子）

○ 成績概要

順位	競技種目	名前・学校名 ※（ ）内の数字は学年	数
1位	陸上競技女子100m	松本 真奈(3)	4
	登山男子団体	太田 和志(2)・河野 祐大(2)・面谷 大平(1)・植田 雄太(1)	
	柔道女子48kg級	富田 伊央莉(2)	
	自転車競技女子3kmインテリゲンツィアル・ハーフ・シュート	白井 愛美(3)	
2位	陸上競技女子200m	松本 真奈(3)	3
	陸上競技女子トラック競技学校対抗	吉村 花香(3)・河村 捺希(2)・鷹田 心(3)・松本 真奈(3)	
	弓道男子個人	大塚 海斗(3)	
3位	ソフトテニス女子個人	高住 莉舞奈(3)・久野 凧桜(2)	6
	ソフトテニス女子団体	塚本 七海(3)・前川 愛生(3)・林 美心(3)・栗原 みのり(3)・伊藤 美咲華(2)・村上 鈴(2)・松井 文音(2)・廣瀬 礼衣(1)	
	ボクシング男子ピン級	大久保 愛月(3)	
	自転車競技女子ロードレース	白井 愛美(3)	
	空手道男子個人形	松本 宝磨(2)	
	カヌー女子カヌースプリント・カヤックペア（200m）	川寄 こころ(3)・山本 栞(3)	
4位	陸上競技男子1000m	荒谷 匠人(2)	5
	陸上競技男子400mH	小早川 智之(3)	
	陸上競技女子4×100mリレー	吉村 花香(3)・河村 捺希(2)・鷹田 心(3)・松本 真奈(3)	
	陸上競技女子学校対抗	吉村 花香(3)・河村 捺希(2)・鷹田 心(3)・松本 真奈(3)	
	登山女子団体	河本 愉楽(2)・松本 みきね(2)・入江 真充(2)・濱野 珠希(2)	
5位	ヨット男子ILCA6級	豊澄 隆成(1)	10
	ソフトテニス女子個人	塚本 七海(3)・前川 愛生(3)	
	テニス女子団体	清田 あいこ(3)・谷本 葵(2)・渡辺 葵依(1)・藤山 羽優(1)・眞鍋 結衣(1)	
	テニス女子シングルス	渡辺 葵依(1)	
	卓球女子団体	石井 春朱(3)・佐藤 結菜(3)・和田 奈都姫(3)・浅井 柚香(2)	
	弓道男子団体	伊藤 聡真(3)・武田 知樹(3)・大塚 海斗(3)・大下 柔(3)・中村 和貴(2)・山田 快晴(2)	
	ボクシング男子ライト級	上垣内 壺太(3)	
	自転車競技女子3kmインテリゲンツィアル・ハーフ・シュート	小松 梅香(3)	
	自転車競技女子ポイント・レース	白井 愛美(3)	
6位	アーチェリー男子団体	肥後 芳希(3)・沖野 直晴(2)・西 耕之介(2)・大河 駿仁(1)	1
	自転車競技男子3kmインテリゲンツィアル・ハーフ・シュート	田中 天悠(3)	
	陸上競技男子やり投	藤田 翔(3)	
7位	少林寺拳法男子団体演武	北川 正績(3)・岡 拓海(3)・平川 太一(2)・尾崎 歩(2)・木山 心(2)・山口 雄太(2)・田中 陽向(1)・徳丸 琥太郎(1)	3
	カヌー女子カヌースプリント・カヤックシングル（200m）	川寄 こころ(3)	
8位	体操競技男子つり輪	夏目 弥空(3)	3
	自転車競技男子ロードレース	中村 春太(3)	
	自転車競技女子ロードレース	小松 梅香(3)	
合 計			35